



エシカル・トークかながわ 2019 食品ロスについて話そう!



人や社会、環境に配慮した商品・サービスを選択する「エシカル消費」について考える「エシカル・トークかながわ」。今年、年間600万トンを超える日本の食品ロスをなくすために、私たち消費者にできることを一緒に考えてみませんか?

2019
10/31 (木)
13:00~18:00
新都市プラザ

そごう横浜店地下2階正面入口前
横浜駅徒歩約5分

入場自由・参加費無料

ステージ

パフォーマンス
「食品ロス紙しばい」

13:00~



紙しばい師
もっちゃん氏

リレートーク
様々な切り口で食品ロス問題に挑む

14:00~

ファシリテーター
松葉口 玲子 氏
ゲスト
高橋 巧一 氏
六角 薫 氏
川越 一磨 氏
植田 彩也和 氏
相模女子大学
中学部・高等部生徒の皆さん

スペシャルトークショー
「家庭の冷蔵庫から、おいしく、楽しく食品ロスを減らそう!」

16:30~



冷蔵庫収納家
福田 かすみ氏

展示ブース

神奈川県資源循環推進課
クリエイティブ クッキング バトルユース
横浜市資源循環局
(株)コークッキング
相模女子大学中学部・高等部
三信化工(株)
豊島(株)
(株)日本フードエコロジーセンター
県立中央農業高等学校
(特非)セカンドリーグ神奈川
生活協同組合バルシステム神奈川ゆめコブ
(公社)フードバンクかながわ
神奈川県ユニセフ協会
県消費者教育スキルアップ講座受講生の皆さん
神奈川県消費生活課

フードバンクかながわによる「フードドライブ」実施!

家に眠っている食品を、当日、会場にお持ちください。
子ども食堂、寺子屋、シングルマザー支援などで活用いたします。

《受け付けられるもの》賞味期限が2か月以上あるもの
常温保存可能な食品、調味料、お菓子など

《受け付けられないもの》賞味期限が2か月未満のもの
常温保存できないもの、開封されたもの、アルコール類



各ブースを回ってクイズに
お答えいただいた方に、
関連グッズをプレゼント!

FOOD TEXTILE
オリジナル
エコバッグも!
(なくなり次第終了)



私たちの一人ひとりの行動が、未来につながる。

SDGs 未来都市

神奈川県

12 つくる責任
つかう責任



ステージ

13:00 ~ 13:30

食品ロス紙しばいパフォーマンス
(クイズや風船パフォーマンスも!)
紙しばいや **もっちい氏**

14:00 ~ 15:45

様々な切り口で食品ロス問題に挑む
ゲストによるリレートーク

ゲスト

高橋 巧一氏

六角 薫氏

川越 一磨氏

植田 彩也和氏

相模女子大学中学部・高等部生徒の皆さん

ファシリテーター

松葉口 玲子氏

16:30 ~ 17:20

スペシャルトークショー
「家庭の冷蔵庫から、おいしく、
楽しく食品ロスを減らそう!」
冷蔵庫収納家 **福田 かずみ氏**

もっちい氏

紙しばいや



元国際線のCA。2015年4月に活動開始。昭和の紙しばいの紹介とともに、クイズあり、バルーンアートありの3Dの紙しばいパフォーマンスを通して「ゴミ問題」「防災」「環境」など社会的な問題を子どもたちに伝える。

高橋 巧一氏

株式会社日本フードエコロジーセンター代表取締役



日本大学農獣医学部獣医学科卒業。同年獣医師免許取得。経営コンサルティング会社、環境ベンチャー、(株)小田急ビルサービス環境事業部顧問を経て現職。(一社)全国食品リサイクル連合会会長。

六角 薫氏

特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川 事務局次長



食品ロスを有効活用する新たなモデル「ピーパーリンク」を県内各地域で実践、拡大中! 行政、企業、地域の団体や個人の、新たな支援のかたちの縁結び役として活動しています。

川越 一磨氏

株式会社コークッキング 代表取締役 CEO



1991年東京都生まれ。慶應義塾大学総合政策学部を卒業後、銀座ライオンを経て、2015年に創業。食を通じた課題解決に取り組む。一般社団法人日本スローフード協会理事。

photo:Shunichi Oda

植田 彩也和氏

クリエイティブ クッキング バトル ユース運営代表



慶應義塾大学総合政策学部4年。エンターテインメント・SNSを媒体に、あらゆる社会課題をより掘みやすく人々に共有をしたいと思います、活動しています。

相模女子大学

中学部・高等部生徒の皆さん



多様な角度から「命」と向き合い、命のかけがえのなさ、人の存在の尊さを感じるとともに、社会に目を向け、主体的に自分の生き方について考える授業、「マーガレットタイム」を実施しています。

松葉口 玲子氏

横浜国立大学教育学部教授



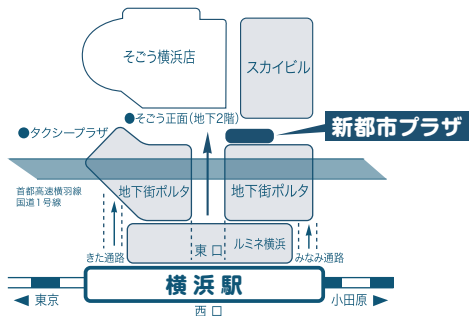
消費者教育・環境教育・ESD・ジェンダーの視点から「持続可能な消費」について考究している。「持続可能な社会のための消費者教育ー環境・消費・ジェンダー」(2000)ほか著書論文多数。

福田 かずみ氏

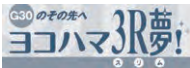




冷蔵庫収納家



気持ちよく食事作りができる環境を研究し、冷蔵庫整理収納術を構築。WEBサイト「美人冷蔵庫LIFE」のメール講座受講者数は、1,000人を超える。家庭の冷蔵庫から食料廃棄をなくす啓発活動にも積極的に取り組む。



展示ブース

 <p>神奈川県 資源環境推進課</p> <p>神奈川県の食品ロス削減対策の取組みをご紹介します。神奈川県庁が「出陣した」[クリエイティブクッキングバトル]の様子もお伝え。マイエコ10宣言に登録して、自分の環境行動を振り返ってみませんか?</p>	 <p>残りの食材を工夫して自由に調理して競う「クリエイティブクッキングバトル(CCB)」の大学生版、「CCBユース」を運営する大学生によるCCBの間接的体験ブース。自分が挑戦者になったつもりで、余った食材をどう料理するか考えよう!</p>	 <p>「食べものを捨てることはもったいない!」のはもちろんのこと、そのほかにも様々な影響を及ぼしています。「私たちを取りまく「食」の問題」と、今日からできる食品ロスを減らす工夫をご紹介します。</p>	 <p>フードシェアリングサービス「TABETE」(タペテ)を運営しています。レストランやパン屋さんなどで余りそうな料理をアプリの登録ユーザーが購入し、お店に取りに行く。飲食店と消費者が、食品ロスにろうとしていた食べ物を救う仕組みをご紹介します。</p>	 <p>相模女子大学中学部・高等部</p> <p>自分たちが「命をいただく」存在であることを自覚し、環境と食について、地産地消やフードロスについてなど、体験や探求を通して学習しています。生徒の様子や学習成果をご紹介します。</p>
 <p>Sanshin 三信化工株式会社</p> <p>給食のうたわを通じ、文化やいのちを大切に育てる食育に取り組んでいます。和食器で食べる学校給食や出前授業の取組みのほか、防災備蓄品をおいしく食べる献立などをご紹介します。</p>	 <p>廃棄予定食材を特殊な技術で染料化して染めて再利用する「FOOD TEXTILE」。豊島株式会社と色の原料を提供する食品企業、その生地で商品を展開するコラボレーション企業によるプロジェクトです。</p>	 <p>株式会社日本フードエコロジーセンター</p> <p>余ってしまった食品から、液体発酵飼料が生まれる。第2回ジャパンSDGsアワード最優秀賞受賞の相模原市の企業が、この飼料で育ったブランド肉で「食べものの「環」」をつくる取組みを分かりやすく紹介します。</p>	 <p>県立中央農業高等学校</p> <p>神奈川県立中央農業高校養豚部・養鶏部では新たな循環型飼料を利用した豚肉の品質・成分の向上、鶏卵・鶏肉作りを行っています。養豚、養鶏での食品ロスの活用の取組みなどを紹介します。</p>	 <p>特定非営利活動法人セカンドリーグ神奈川</p> <p>食と地域をつなぎ、神奈川から貧困をなくす取組み「K-Model」の推進団体が、食品を活用した子ども食堂、寺子屋、若者支援の活動などをお伝え。みんなで「もったいない宣言」をして素敵なプレゼントをもらおう!</p>
 <p>pal*system 生活協同組合 パルシステム神奈川ゆめコープ</p> <p>安心安全で持続可能な社会の実現を目指す、第1回ジャパンSDGsアワード受賞の生協が、食品ロスの削減やエシカル消費を促進する取組みをご紹介します。</p>	 <p>フードバンクかながわ</p> <p>企業や団体、個人から寄贈された食品を、福祉施設など、食品を必要としている団体に提供しています。来場者の皆さまから不要な食品を集める「フードライブ」を当日実施します。ご協力ください。</p>	<p>神奈川県ユニセフ協会</p> <p>県内で、ユニセフを通じた世界の子どもたちへの支援の広報・啓発・募金活動を実施しています。子どもたちの栄養不良など「直面する世界の課題」と「SDGs」をテーマに楽しく知って、自分にどんなことができるのかを一緒に考えてみましょう。</p>	<p>県消費者教育スキルアップ講座 受講生の皆さん</p> <p>神奈川県消費者教育の担い手となるべく、令和元年度消費者教育スキルアップ講座の受講生の皆さんが、消費者による持続可能な社会の実現を目指し、講座の成果を発表します。</p>	 <p>神奈川県消費生活課</p> <p>「買い物か未来をつくる 未来をかえる」のコンセプトを通して、消費者が持続可能な社会づくりに積極的に参画する「消費者市民社会」を目指します。消費生活センター情報も発信。</p>

主催: 神奈川県
問合せ先: 消費生活課 消費者教育推進グループ
電話 045-312-1121(内線2640)

神奈川県の
エシカル情報は
こちらから!

つながるエシカル
買い物が未来をかえる



FSC®森林認証紙、ノンVOC インキ(石油系溶剤0%)など印刷資材と製造工程が環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて、印刷事業において発生するCO₂全てをカーボンオフセット(相殺)した「ゼロカーボンプリント」で印刷しています。

